

報道各位

坂口安吾生誕祭実行委員会事務局
(新潟市文化政策課)

坂口安吾生誕120年記念 企画展「処方箋文庫®」を開催します

— いまの心の状態に合った文学作品を「よみぐすり」として処方 —

新潟市出身の作家・坂口安吾生誕120年を記念し、企画展「処方箋文庫®」を開催します。

「処方箋文庫®」は、来場者の心の状態に合った文学作品を「薬」に見立てて「よみぐすり」として処方する、文学の薬局病院です。明日への元気をくれる一編から、心を揺さぶる劇薬のような一編まで、さまざまな文学作品を紹介します。

今回は、坂口安吾作品を中心に新潟にゆかりのある作家たちの小説や詩歌を取りそろえます。自分の心の状態に合わせて選ぶもよし、ふと惹かれた言葉から手に取るもよし。自分だけの「よみぐすり」と出会える企画です。

開催に先立ち、報道関係者向け内覧会を行いますので、ぜひ、取材ください。

【報道関係者向け内覧会】

日時 令和8年10月15日（木）午後3時～4時30分

会場 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 ギャラリー

開催概要

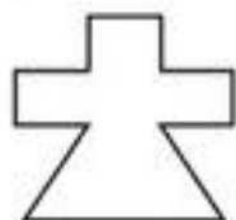
日時	10月16日（金）～18日（日）午前9時30分～午後7時30分 10月19日（月）・20日（火）午前9時30分～午後5時30分
会場	りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 ギャラリー
入場料	無料
申込	不要
Curation& Design	Tsuguko Kawasaki



※取材いただく際は、下記問い合わせ先へ事前にご連絡ください。

〈お問い合わせ〉 坂口安吾生誕祭実行委員会事務局（新潟市文化政策課）

担当 関谷・井上 電話 025-226-2624（直通）



よみぐすり、処方します。
処方箋文庫

小説は劇薬ですよ。
魂の病人のサイミン薬です。

りゅうとびあ
新潟市民芸術文化会館ギャラリー
2026.10.16－10.20

坂口安吾「余はペンメイス」より

『処方箋文庫®』は、いまの心の状態に合った文学作品を「よみぐすり」として処方する、文学の薬局病院です。この企画展示では、明日への元気をくれる一編から、心を揺さぶる劇薬のような一編まで、さまざまな文学作品が並びます。今回は坂口安吾生誕 120 周年に合わせ、坂口安吾作品を中心に、新潟にゆかりのある作家たちの小説と詩歌を取りそろえました。自分の心の状態に合わせて選ぶもよし、ふと惹かれた言葉から手に取るもよし。ここには、あなただけの「よみぐすり」と出会うための仕掛けがあります。ぜひ、ご服用いただきたい。 ※ただし効果には個人差があります。



よみぐすり、処方します。

処方箋文庫

公式 Instagram



1906-2026
坂口安吾
生誕祭
120

場 所：新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館ギャラリー (4F)
開 館 時 間：10.16 (Fri) 9:30-19:30
10.17 (Sat) 9:30-19:30
10.18 (Sun) 9:30-19:30
10.19 (Mon) 9:30-17:30
10.20 (Tue) 9:30-17:30
入 場 料：無料
主 催：坂口安吾生誕祭実行委員会（新潟市役所文化政策課内）
Curation&Design：Tsuguko Kawasaki (<https://www.tsuguko.com>)